

サン・ペドロ・デ・アタカマ旅行記

Sierra Gorda SCM 神子阿久里

4月より住友商事から Sierra Gorda SCM に派遣されております神子と申します。先日連休を利用して、こちらでできた友人たちとサン・ペドロ・デ・アタカマへ旅行に行って参りましたので、チリ初心者が僭越ながら、旅行記と題しまして以下ご紹介させていただきます。

【サン・ペドロ・デ・アタカマ位置】



首都サンチャゴから国内線で北上すること2時間。まずは Calama 空港まで行きます。Calama からバスやタクシーで約1時間半ほどゆられると、目的地のサン・ペドロ・アタカマに到着します。サンチャゴからの距離は1600kmです。

サン・ペドロ・デ・アタカマの標高は約2300m。更に北上し山越えするとボリビアのウユニ塩湖へも行けるようです。

【旅行日程】

2015年6月26日（金）～2015年6月29日（月）

【参加者（順不同、敬称略）】

同年代のサンチャゴ若手で行って参りました。

小長谷（三菱商事）、藤澤（三菱商事）、藤澤妻、鈴木（コマツ）、原田（三井金属）、神子

【旅行準備段階】

今回の旅行発起人は小長谷君でした。彼がサン・ペドロ・デ・アタカマに関する魅力的な情報を発信したことによって、実現した旅行であります。出発日の約1週間前から本格的な準備を開始。ホテルや移動手段の確保を始めました。

金曜日夜にサンチャゴを出発する第一陣と、土曜日早朝に出発する第二陣とに別れ、Skyのフライトを抑えました。Calama空港からの移動手段は、乗り合いバス。宿はバンガロータイプのロッジを予約しました。このロッジの方がかなり親切で感動しましたので、以下ロッジ情報を載せます。但し、人数割りすると一人一泊USD50程度の安宿でしたので、家族旅行には向かないかもしれません。

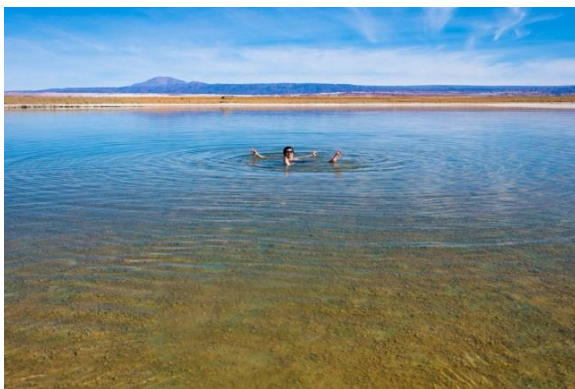


Lodge & Cabañas Ancar Atacama

住所: Pasaje Lasana 654 - Ayllu de Conde Duque
San Pedro de Atacama, 1410000

電話: +56999699236

【観光一日目：6月27日（土）】



サン・ペドロ・デ・アタカマの街中心には沢山のツアー会社があり、ここで値段を比較しながら条件にあったツアーを探します。第一陣は早朝から街に繰り出し、これから3日間のプランニングとツアー予約を行いました。そして昼に第二陣と合流するまでの間、死海を上回る塩分濃度40%のセヤス湖に行ってみました。水温10度以下でかなり寒かったですが、我慢して入ったのは良い思い出です。

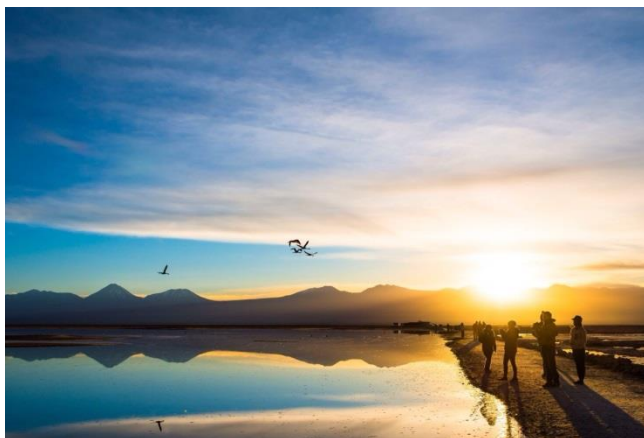
午後は第二陣と合流して、月の谷・死の谷ツアーへ。コヨーテの形をした岩の上で記念撮影。皆笑顔ですが、足腰はガクガクブルブル。崖の下を覗くと恐ろしいことになっています。しかしながら、かなりの絶景でした！

どこに行っても絶景なので、原田君の一眼レフ持参も相俟って、このあたりから我々の写真熱に火が付きま



【観光二日目：6月28日（日）】

早朝5時起きでアタカマ塩湖へ。目的はフラミンゴです。冬に行ったということもあって痛いほど寒かったのですが、そこには心が洗われるような景色が広がっていました。日の出のタイミングは美しすぎて、寒さも忘れるほどでした。早起きして行った甲斐があったと言えるでしょう。



アタカマ塩湖の興奮冷めやらぬまま、その後は絶景スポットを求めてドライブです。一時標高が4300mあたりまで行ったために頭痛に悩まされたり、車のタイヤが途中でパンクするなど、南米あるあるもしっかり経験しました。砂漠の町ソカイエでインカ帝国の歴史を少し学び、その後綺麗な夕日を求めて山登りもしました。



【観光三日目：6月29日（月）】

最終日も早起きをしてタティオ間欠泉へ。地面の至る所から数分おきに温泉が吹き出ていました。間欠泉近くの水蒸気に当たっていると少し暖かいのですが、気温としてはとにかく寒い！冬に旅行する方は防寒対策をしっかりされたほうが良いかと思います。

間欠泉後は、近くの温泉へ。大勢の観光客が水着になって入っていましたが、日本人が全身浸かるには水温がぬるすぎ、しかもお世辞にもお湯は綺麗とは言えない・・・、そんなクオリティでしたので足湯だけにしました。



【その他感想、まとめ】

サン・ペドロ・デ・アタカマは、観光地ということもあり、レストランや各種ツアーのレベルが高く、安心して楽しむことができました。偶然にも現地のお祭りの日に旅行したこともあり、お祭りのダンスを見ることもできました。唯一残念だったのは、天気と時間の関係で星空ツアーとサンドボードを断念したことです。これはもう、任期中にリベンジするしかないと考えています。

全体として大満足の旅になりました。何よりも同年代の仲間たちと一緒に旅行できて、語り合えたことが楽しかったです。

チリ国内に見るべきところはまだまだ沢山あると思いますので、今後も時間を見つけて積極的に開拓していきたいと思います。



拙筆で恐縮ですが、以上でサン・ペドロ・デ・アタカマ旅行記とさせていただきます。最後まで読んでいただきありがとうございました。

※この記事は、カメラ会報 239 号（2015 年 8 月発刊）に掲載されました。